



## 2026年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年3月13日  
東

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所  
 コード番号 3134 URL https://hamee.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水島 育大  
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画部マネージャー (氏名) 國井 俊樹 (TEL) 0465-25-0260  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家等向けに  
 3月16日に開催予定)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年4月期第3四半期の連結業績(2025年5月1日~2026年1月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第3四半期	16,926	△2.4	799	△58.7	576	△71.6	296	△72.2
2025年4月期第3四半期	17,336	35.6	1,938	42.3	2,028	40.8	1,066	53.7

(注) 包括利益 2026年4月期第3四半期 666百万円(△19.5%) 2025年4月期第3四半期 828百万円(△18.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第3四半期	18.54	18.53
2025年4月期第3四半期	66.87	66.86

(注) NE株式会社の連結除外による構造的な減少が含まれております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第3四半期	14,139	7,208	50.5
2025年4月期	16,972	10,570	61.8

(参考) 自己資本 2026年4月期第3四半期 7,144百万円 2025年4月期 10,486百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2026年4月期	—	0.00	—		
2026年4月期(予想)				22.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日~2026年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,673	△5.3	723	△69.3	479	△79.6	152	△88.1	9.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) NE株式会社

(注) 詳細は、添付資料P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年4月期3Q	16,328,100株	2025年4月期	16,296,400株
② 期末自己株式数	2026年4月期3Q	327,099株	2025年4月期	344,675株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年4月期3Q	15,984,911株	2025年4月期3Q	15,943,076株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11
(企業結合等関係) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、12月の日銀短観が示す通り、業種によって差が見られるものの総じて堅調に推移いたしました。

大企業製造業は、電気機械や食料品などの牽引により業況判断D Iが15へと改善し、3四半期連続の持ち直しとなりました。一方、大企業非製造業はD Iこそ横ばいの34でしたが、歴史的な高水準を維持しており、対事業所サービスを中心に活発な企業活動が続いております。今後については、地政学リスクや海外景気の減速懸念に加え、人手不足やコスト増による国内需要への波及が警戒されており、先行きは予断を許さない状況にあります。

このような経営環境の下で、当社グループにおきましては、2025年11月4日付「NE株式会社の東京証券取引所上場に関するお知らせ」のとおり、NE株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピノフ）を実施いたしました。これにより同社は当社の連結子会社ではなくなったため、当第3四半期連結累計期間の全社業績は、前年同期と比べ表面上は減収および各段階利益において減益となっております。これらの事業構造の変化を踏まえた、当第3四半期連結累計期間における当社グループのセグメントごとの経営成績は次のとおりとなりました。

#### ① コマースセグメント

##### a. モバイルライフ事業

新型iPhoneの登場により需要が牽引される下半期にあって、当第3四半期連結累計期間は、各チャネルにおける的確な施策の実行により、E C販売および卸販売ともに概ね計画通りの水準で安定して推移いたしました。

E C販売では、低価格帯ブランドの台頭により競争が一段と激化する中、Amazonブラックフライデーや各種年末大型セール等での的確な対応により底堅く売上を確保いたしました。卸販売では、iPhoneケースの複数機種兼用化に伴う店頭陳列面積の縮小が見られたものの、独自のブランド専用コーナーの展開等により、影響を最小限に留めております。

プロダクト別には、主力「iFace」シリーズにおける高単価なMagSafe対応モデルの構成比上昇や、ガラスフィルム等の周辺アクセサリーの併売（クロスセル）が客単価向上に寄与しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比概ね横這いの1.1%減となりました。

営業利益につきましては、トップラインの維持および拡大を目的とした攻めの広告投資や、店頭プレゼンス維持に向けた販促活動の強化に伴う費用の増加があったものの、過年度の関税関連費用の戻入による原価の改善に加え、前述の高単価商材および周辺アクセサリーの拡販等による利益率の向上により、これらの費用増を十分に吸収し、事前の計画を裏付ける確実な利益水準を確保いたしました。

##### b. コスメティクス事業

コスメティクスブランド「ByUR（バイユア）」につきましては、当第3四半期連結累計期間において、E C販売および卸販売ともに好調に推移し、全体として売上計画を超過いたしました。E C販売においては、第3四半期の大型セール時における他社との競争激化や、シートマスク市場の縮小傾向の影響等を受けましたが、卸販売においては、販路再編に伴う帳合変更後の体制が安定し、ベースメイクを中心に取扱店舗数の拡大が順調に進み、概ね計画通りの結果となりました。

プロダクト別のトレンドといたしましては、ベースメイクカテゴリーの成長が顕著であり、日本人の肌質に合わせた仕上がり幅広い顧客層から支持を集め、ブランド全体のトップラインを力強く牽引しております。一方、シートマスクおよびスキンケアカテゴリーにつきましては、市場全体での競争激化の影響を受け、相対的に伸び悩んでおります。このような背景の中でも、ブランド全体としてのトップラインは伸ばいたしました。その結果、売上高は前年同期比18.8%増となりました。

営業利益につきましては、当第3四半期連結会計期間において黒字を確保したものの、計画に対しては未達となりました。これは、ベースメイクカテゴリーの導入店舗拡大に伴う什器・テスター等の販売促進費が引き続き増加したことに加え、販路再編に伴う返品処理等の影響が当第3四半期においても発生した影響等によるものであります。なお、今後に向けては、E C販売における運用体制の改善や、製造原価率の低減を通じた収益性の向上に継続して取り組んでおります。

## c. ゲーミングアクセサリ事業

ゲーミングモニターブランド「Pixio（ピクシオ）」につきましては、競合各社による低価格帯製品の投入等により価格競争が一段と過熱しており、市場全体として引き続き厳しい環境で推移いたしました。そのような環境下においても、「空間全体のトータルコーディネート提案」を強みとした展開を進め、「Amazon.co.jpマーケットプレイスアワード2025 カテゴリー賞」を受賞するなど、当該カテゴリーにおける高い地位を維持しております。

販売動向といたしましては、11月に開催されたAmazonブラックフライデー等の大型セール的好調が牽引し、売上高は拡大傾向となりました。プロダクト別には、モニター単体が価格競争の影響を受ける一方、モニターアームをはじめとするアクセサリ類の販売が好調に推移し、全体の売上をカバーいたしました。また、原価率の低い周辺アクセサリ類の構成比が高まったことにより、採算面では着実な改善が見られております。その結果、売上高は前年同期比7.3%増となりました。

営業利益につきましては、商品評価損が想定を下回ったことによる原価の改善要因があったものの、競争激化に伴う広告宣伝費の増加が継続したことに加え、想定を上回る販売好調による一部倉庫での欠品と、それに伴う一時的な出荷体制の変更による物流費用の増加等が利益を押し下げる要因となりました。

## d. グローバル事業

米国市場、韓国市場及び中国市場においてE C・卸販売市場での開拓を進め、グループ外に対する売上高は前年同期比5.4%の増収となりました。主力の米国事業においてE Cおよび卸販売がともに前年同期を上回り、外部向けトップラインの伸長を牽引しております。一方で、グループ内取引の減少等の影響が相殺された結果、グローバル事業全体としての売上高は前年並みの水準にとどまっております。

営業利益につきましては、前年同期比で減益となりました。主な要因は、米国事業において米国関税の影響等により仕入コストが増加し原価率が上昇したことに加え、在庫評価に係る費用の純額（商品評価損と評価損戻入の差引）が前年同期比で増加し売上原価を押し上げたこと、ならびに韓国国内で発売開始したゲーミングモニターの先行的な広告宣伝費や、インフレを背景とした物流・人件費が増加したためです。一方で、連結決算上の要因として、日米における韓国仕入在庫の減少に伴い「未実現利益の消去」が戻し入れとなり、事業全体の利益を一部下支えいたしました。

これらの結果、コマースセグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は14,947,873千円(前年同四半期比4.3%増)、セグメント利益(営業利益)は916,142千円(同40.4%減)となりました。

## ② プラットフォームセグメント

2025年11月4日付「NE株式会社の東京証券取引所上場に関するお知らせ」のとおり、NE株式会社の株式の現物配当(株式分配型スピンオフ)により、同社は当社の連結子会社ではなくなりました。そのため、2025年11月以降の第3四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間においてプラットフォームセグメントの業績は含まれず、当期の業績としては第2四半期連結累計期間までとなります。

この結果、プラットフォームセグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,987,978千円(前年同四半期比34.1%減)、セグメント利益(営業利益)は1,013,634千円(同38.3%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,926,344千円(前年同四半期比2.4%減)、営業利益は799,612千円(同58.7%減)、経常利益は576,978千円(同71.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は296,323千円(同72.2%減)となりました。

## ③ 各段階利益について

## a. 営業利益

主力のモバイルライフ事業における高単価商材および周辺アクセサリーの拡販等が増加したものの、NE株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）により同社が当社の連結子会社から除外されたことが、前年同期比での減益の大きな要因となりました。さらに、コスメティクス事業におけるベースメイク商材の拡販による什器備品等の販促費増、ゲーミングアクセサリー事業の競争激化による広告宣伝費増、韓国子会社（Hamee Global）での人件費増や広告宣伝費増、米国子会社（Hamee US）の商品評価損に伴う原価率の上昇等を背景に営業利益は799,612千円（前年同四半期比58.7%減）となりました。

## b. 経常利益

経常利益につきましては、営業利益と同様に、NE株式会社の連結除外を主因とする営業利益の減少に加え、前年同四半期比で営業外費用が増加したこと等により、576,978千円（前年同四半期比71.6%減）となりました。営業外費用の主な増加要因は、Pixio USA Inc.に係る持分法による投資損失の計上によるものです。

## c. 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、各段階利益と同様に、NE株式会社の連結除外を主因とする前述の経常利益の減少等に伴い、296,323千円（前年同四半期比72.2%減）となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前述の株式分配型スピンオフにより大きく変動するところとなり、前連結会計年度末に比べ2,833,215千円減少し14,139,374千円（前連結会計年度末比16.7%減）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ2,833,215千円減少し、14,139,374千円となりました。これは主に、使用権資産が555,454千円増加したこと、その他の流動資産が215,341千円増加したこと、商品が200,385千円増加した一方で、現金及び預金が2,664,143千円減少したこと、売掛金が553,738千円減少したこと、ソフトウェアが194,990千円減少したことなどの結果によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ528,337千円増加し、6,930,805千円となりました。これは主に、未払法人税等が473,732千円減少したこと、未払金が403,143千円減少した一方で、短期借入金が650,000千円増加したこと、その他の固定負債が637,651千円増加したこと、買掛金が155,704千円増加したことなどの結果によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ3,361,552千円減少し、7,208,569千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が370,326千円増加した一方で、利益剰余金が3,790,298千円減少したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、適切なコスト管理および在庫適正化等により、各段階利益で事前の計画を超過する順調な進捗となりました。しかしながら、第4四半期連結会計期間は、来期以降のさらなる収益拡大（次なる成長フェーズ）に向け、「ZカルチャーSPA」戦略に基づく事業別のカテゴリー拡張や原価改善など、来期に向けた仕込みを積極的に実行する予定です。これらの前向きな先行投資の発生や、市場環境の変動リスク等を考慮し、業績予想につきましては、2025年12月15日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,993,572	2,329,428
売掛金	2,352,311	1,798,573
商品	4,145,508	4,345,893
仕掛品	5,514	13,528
原材料及び貯蔵品	121,166	199,672
その他	1,840,233	2,055,575
貸倒引当金	△36,450	△163,970
流動資産合計	13,421,855	10,578,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	964,588	837,209
減価償却累計額	△256,060	△258,097
建物及び構築物 (純額)	708,527	579,111
車両運搬具	3,555	6,954
減価償却累計額	△2,274	△3,385
車両運搬具 (純額)	1,280	3,569
工具、器具及び備品	1,347,043	1,365,358
減価償却累計額	△965,938	△1,061,834
工具、器具及び備品 (純額)	381,105	303,524
使用権資産	409,525	962,220
減価償却累計額	△208,983	△206,223
使用権資産 (純額)	200,542	755,996
土地	335,433	360,830
建設仮勘定	995	—
有形固定資産合計	1,627,885	2,003,033
無形固定資産		
のれん	280,363	219,338
ソフトウェア	244,947	49,956
商標権	21,317	25,170
その他	61,667	60,248
無形固定資産合計	608,296	354,714
投資その他の資産		
投資有価証券	10,934	10,849
関係会社株式	548,367	472,471
長期貸付金	17,500	12,711
退職給付に係る資産	122,440	37,670
繰延税金資産	440,554	524,399
その他	197,696	170,319
貸倒引当金	△22,940	△25,495
投資その他の資産合計	1,314,553	1,202,925
固定資産合計	3,550,734	3,560,673
資産合計	16,972,590	14,139,374

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	232,041	387,746
短期借入金	3,850,000	4,500,000
未払金	1,083,430	680,286
未払費用	271,625	186,562
未払法人税等	496,009	22,276
賞与引当金	69,334	53,446
資産除去債務	11,187	—
その他	243,924	335,771
流動負債合計	6,257,553	6,166,089
固定負債		
資産除去債務	40,988	23,138
その他	103,926	741,577
固定負債合計	144,914	764,715
負債合計	6,402,467	6,930,805
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	607,419	635,617
資本剰余金	555,203	589,001
利益剰余金	9,519,286	5,728,988
自己株式	△331,321	△314,957
株主資本合計	10,350,589	6,638,649
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	135,876	506,202
その他の包括利益累計額合計	135,876	506,202
新株予約権	83,657	63,717
純資産合計	10,570,122	7,208,569
負債純資産合計	16,972,590	14,139,374

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年5月1日 至2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年5月1日 至2026年1月31日)
売上高	17,336,703	16,926,344
売上原価	7,136,921	7,032,965
売上総利益	10,199,781	9,893,379
販売費及び一般管理費	8,261,382	9,093,766
営業利益	1,938,398	799,612
営業外収益		
受取利息	1,522	5,784
受取補償金	13,177	31,619
為替差益	51,400	29,863
その他	79,616	22,266
営業外収益合計	145,716	89,533
営業外費用		
支払利息	28,472	53,380
支払保証料	5,926	5,397
持分法による投資損失	8,955	153,664
貸倒引当金繰入額	8,630	84,078
その他	3,172	15,647
営業外費用合計	55,157	312,168
経常利益	2,028,957	576,978
特別利益		
固定資産売却益	15	1,796
投資有価証券売却益	—	10
新株予約権戻入益	3,774	—
固定資産受贈益	—	290
特別利益合計	3,789	2,097
特別損失		
固定資産除却損	14,897	14,986
投資有価証券売却損	1,532	—
投資有価証券評価損	19,998	85
関係会社株式評価損	283,321	18,214
特別損失合計	319,750	33,285
税金等調整前四半期純利益	1,712,996	545,789
法人税、住民税及び事業税	751,878	279,444
法人税等調整額	△104,930	△29,978
法人税等合計	646,947	249,466
四半期純利益	1,066,049	296,323
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,066,049	296,323

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
四半期純利益	1,066,049	296,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66,649	—
為替換算調整勘定	△171,105	370,326
その他の包括利益合計	△237,754	370,326
四半期包括利益	828,294	666,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	828,294	666,649
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間において、当社子会社であるNE株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）を行いました。

これにより、NE株式会社を当社の連結範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年11月1日付で当社子会社であるNE株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が3,727,707千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が5,728,988千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コマース	プラット フォーム	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	14,329,912	3,006,790	17,336,703	—	17,336,703
外部顧客への売上高	14,329,912	3,006,790	17,336,703	—	17,336,703
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	12,151	12,151	△12,151	—
計	14,329,912	3,018,941	17,348,854	△12,151	17,336,703
セグメント利益	1,536,116	1,643,214	3,179,331	△1,240,932	1,938,398

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,240,932千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コマース	プラット フォーム	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	14,947,873	1,978,471	16,926,344	—	16,926,344
外部顧客への売上高	14,947,873	1,978,471	16,926,344	—	16,926,344
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	9,507	9,507	△9,507	—
計	14,947,873	1,987,978	16,935,852	△9,507	16,926,344
セグメント利益	916,142	1,013,634	1,929,777	△1,130,164	799,612

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,130,164千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
減価償却費	522,107千円	540,833千円
のれんの償却額	86,603	79,921

## (企業結合等関係)

## 現物配当による子会社の異動

当社は、当社が保有する連結子会社であるNE株式会社の全株式を、2025年11月1日付で現物配当（金銭以外の財産による配当）により当社株主に分配いたしました。

これにより、NE株式会社は当社の連結範囲から除外することとなりました。

## (1) 現物配当実施日

2025年11月1日

## (2) 実施した会計処理の概要

## ① 会計処理

「事業分離等に関する会計基準」、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」及び「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準の適用指針」に規定する個別財務諸表上及び連結財務諸表上の会計処理を適用しております。本現物配当により、移転損益は生じておりません。

## ② 分離した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	4,444,530千円
固定資産	593,659千円
資産合計	5,038,190千円
流動負債	927,186千円
固定負債	38,308千円
負債合計	965,494千円

## (3) 分離した事業が含まれていた報告セグメント

プラットフォームセグメント

## (4) 当四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高	1,987,978千円
営業利益	723,350千円